

整理番号 02270

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） Tube Indicating OMI-2
OMI-2 チューブ

販売者情報

会社 LECO ジャパン合同会社
住所 〒105-0014
東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号
住友不動産芝ビル 4 号館
担当 SDS 担当者
電話番号 (03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社 LECO Corporation
住所 3000 Lakeview
St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

推奨用途

分析試験用

使用上の制限

推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的有害性	水反応可燃性化学品 区分 1
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性 区分 1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 1
環境に対する有害性	水性環境有害性 短期(急性) 区分 3

ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

水に触れると自然発火するおそれのある可燃性又は引火性ガスを発生。重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。水生生物に有害。

注意書き

安全対策：激しい反応と火災の発生の危機があるため、水と接触させないこと。適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。適切な呼吸用保護具を着用すること。必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。粉じん、ヒュームを吸入しないこと。湿気を遮断し、不活性ガス下で取り扱うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

応急処置：飲み込んだ場合口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。皮膚又は毛に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。汚染した衣類は再使用する前に洗濯すること。吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外しその後も洗浄を続けること。皮膚に付着、眼に入った、飲み込んだ場合、吸入した場合は、直ちに医師に連絡すること。ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。気分が悪い時は医師の手当て、診断を受けること。

保管：乾燥した場所又は密閉容器に保管すること。施錠して保管すること。容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

廃棄：内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物	
化学名	: リチウムアミド	アンモニア
化学式又は構造式	: LiNH_2	NH_3
成分及び含有量	: 5-10%	<0.1%
CAS No.	: 7782-89-0	7664-41-7
官報公示整理番号（化審法・安衛法）	: 1-711	1-391
労働安全衛生法	: 対象外	裾切値以下
PRTR 法	: 対象外	裾切値以下
国連分類及び国連番号	1414 等級 4.3	

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、症状がある場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

急性症状及び遅発性症状

応急措置及び特別注意事項

直ちに汚染された衣類を脱ぎ、水やシャワーで洗浄する。

多量の水で最低 15 分間洗浄する。搬送中も洗浄を続ける。

意識の無い場合やけいれんを起こしている場合は、口から物を与えない事。口をすすぐ。医師の診断を受ける。

灼熱感、重度の皮膚腐食性障害。重度の眼障害。

一般的な支持療法を行い、症状に応じて処置する。

5. 火災時の措置

消火剤

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

消火を行う者の保護

消火に関する注意事項

粉末消火剤、二酸化炭素

水

火災時に有害なガスが発生する可能性がある。

水と接触すると可燃性ガスを発生し、自然発火する可能性がある。

自給式呼吸器及び防護服を着用する。

容器内に水を入れないこと。関与する他物質の危険性を考慮すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急措置

封じ込め及び浄化の方法及び機材

環境に対する注意事項

保護具を着用する。ダストの発生を防ぐ。蒸気、ミストガス、ダストの吸引を避ける。十分換気する。関係者を安全な区域に退避させる。保護具は 8 項を参照。

水が入った容器に混入しないようにすること。元の容器に回収しないこと。粉塵の発生を避け掃き取り又は真空回収し、適切な空容器に集めて廃棄する。

環境中への放出を避けること。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項

安全な保管条件及び混触危険物質

湿気から保護する。適切な個人保護具を着用する。環境への放出を避ける。産業衛生に配慮する。火気厳禁。粉塵が発生する場所では十分な廃棄設備を設ける。粉塵やエアロゾルの発生を避ける。

製品の入っている容器のまま密閉し、乾燥した、換気の良い場所で保管する。激しく反応する為、水と接触させない。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度（ばく露限界値）

US. OSHA（労働安全衛生法）表 Z-1 空気汚染許容濃度（29 CFR 1910-1000）

成分	タイプ	値
----	-----	---

アンモニア CAS：7664-41-7	PEL	35 mg / m ³ 50 ppm
------------------------	-----	----------------------------------

US.ACGIH（産業衛生専門家会議）ばく露限界値

成分	タイプ	値
アンモニア CAS：7664-41-7	STEL TWA	35 mg / m ³ 25 ppm

US.NIOSH（国立労働安全衛生研究所）推奨暴露限界値

成分	タイプ	値
アンモニア CAS：7664-41-7	STEL TWA	27 mg / m ³ 35 ppm 18 mg / m ³ 25 ppm

保護具

眼/顔の保護

サイドシールド付きメガネ（又はゴーグル）を着用する。

皮膚の保護

手

耐薬品手袋を着用すること。

その他

耐薬品性の保護衣を着用すること。

呼吸器の保護

換気が不十分な場合は指定防護係数を有した防塵マスク等適切な呼吸器保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状	固体	ビーズ状
色	黒色	
臭い	入手不可	
融点・凝固点	入手不可	
沸点又は初留点及び沸騰範囲	入手不可	
可燃性	入手不可	
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可	
引火点	入手不可	
自然発火点	入手不可	
分解温度	入手不可	
pH	入手不可(水溶液状態ではアルカリ性)	
動粘性率	入手不可	

溶解度	水と接触すると分解する
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	0.32
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

10. 安定性及び反応性

反応性	水と接触すると可燃性ガスを発する
化学的安定度	推奨の保管状態で安定
危険有害反応可能性	水と激しく反応する
避けるべき条件	湿潤な環境。混触危険物との接触。
混触危険物質	水、酸素、アルコール、強酸化剤、酸
有害な分解生成物	リチウム酸化物

11. 有害性情報

起こりうるばく露に関する情報	
飲み込んだ場合	消化管の損傷を起こす。
吸入	呼吸器系を刺激する可能性。長期吸引は有害。
皮膚	重度の皮膚障害を起こす。
眼	重度の眼障害を起こす。
物理的・化学的・有害性特性に関連した症状	灼熱感、皮膚腐食、流涙、腫れ、視覚障害、失明のおそれ。
毒物学的影響に基づいた情報	
急性毒性	製品全体：経口 ATEmix 350,000 mg/kg アンモニア：経口 LD50(ラット) 350 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	重篤な眼の損傷
呼吸器又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	データなし
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類されていない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類されていない
誤えん有害性	入手不可

12. 環境影響情報

生態毒性	アンモニア：魚類(ハクレン) LC50 0.38mg/L (96 時間)
残留性/分解性	データなし
生体内蓄積性	アンモニア：log Kow -2.66
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	本製品からオゾン層破壊、光化学オキシダント生成、内分 泌かく乱、地球温暖化などの影響は予想されない。
その他の有害影響	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄手順	各地方自治体の規則に従い廃棄すること。
残余廃棄物/未使用製品	各地方自治体の規則に従い廃棄すること。
汚染容器	未使用品として廃棄する。

14. 輸送上の注意

DOT

UN 番号	UN1414
UN 正式品名	入手不可
分類	
等級	4.3
副次危険性等級	-
ラベル	4.3
容器等級	I
使用者への注意	取り扱いの前に本 SDS を読むこと

IATA

UN 番号	UN1414
UN 正式品名	入手不可
分類	
等級	4.3
副次危険性等級	-
容器等級	I
ERG コード	4W
使用者への注意	取り扱いの前に本 SDS を読むこと

IMDG

UN 番号	UN1414
UN 正式品名	水素化リチウム
分類	

等級 4.3
副次危険性等級 -
容器等級 I
使用者への注意 取り扱いの前に本 SDS を読むこと

DOT



IATA, IMDG



15. 適用法令

適用法令無し

16. その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS (040425) : LECO Corporation
JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法・ラベル、
作業場内の表示および安全データシート
化学便覧 : 丸善
職場の安全サイト : 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成 平成 24 年 2 月 15 日
改訂 平成 29 年 2 月 3 日 (書式、法令見直し)
令和 4 年 3 月 16 日 (法令見直し、2019 年版 JIS 対応)
令和 6 年 6 月 21 日 (法令見直し)
令和 7 年 9 月 26 日 (英文 SDS 内容改訂に伴う見直し)

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。